

主演・松葉役 佐々木琶音さん 遠野高1年 =宮守町達曽部=

夢が叶った

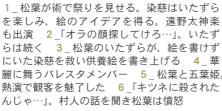
終わってほっとし、寂しさを感じています。劇が好きでファンタジーに出るのが夢でした。主役と言われ、えっ、と思ったけれど挑戦できて良かったです。公演まで大変なことも多かったけれど、家族、役者やスタッフの皆さんに支えられました。ファンタジーは大好きな劇ができる楽しい場所でした。

若者も舞台を見てほしい

岩手の市民の舞台の先駆けが遠野物語ファンタジー。観客、役者、音楽、裏方が一体になり、みんなが主役になれる場です。お客さんも舞台をつくる参加者で、笑いや拍手などの反応があっていい舞台が出来上がります。ぜひ、若い人にも舞台を見てもらいたいです。関わってみると面白いですよ。



舞っ監督 佐藤芳博さん =松崎町=





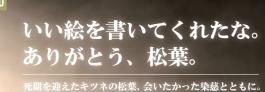




自分にできることが何かの役に立つなら 誰かのために使ってやればいい。



7_村人に懲らしめられる松葉 8_死期が近づく中、染慈を弔 うための供養絵を書く松葉 9_「ごめんね…」。絵筆が染慈 の寿命を縮めたことを悔いる松 葉。最後の力をふり絞り染慈の 墓前へ 10_墓前で死期を迎え た松葉のもとに染慈が。一緒に 旅立つラストシーン







- お客さんの



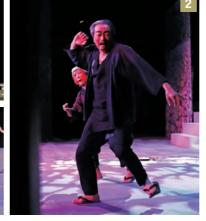
菊池文子さん = 東舘町=

想像の何倍も感動しました。音楽やバレエなどもうまく融合していてすごい。プロの劇団のよう。遠野はホップなど夏に有名なものが多いイメージでしたが、ファンタジーが冬の楽しみになりそうです。



JICA職員の5人=東京都ほか= 左上から右回りに $_{-}$ 福島さん、朝川さん、丸山さん、関口さん、木村さん





11_生演奏・合唱がファンタジーの 世界を際立たせた 12_拍手を贈る 観客 13_影で活躍する舞台転換 14_熱演を見せたキャスト陣









市民センター大ホールで3公演を上演。来場しいたずらキツネと人間いたずらキツネと人間いたずらキツネと人間と演奏・合唱が物語の世界に魅了されました。193話と「供養絵類」エスタジオ、一輪車クラブムす物語。「遠野物語 引き立て、遠野太神楽やバーフに、萩野友理恵さ 出演し舞台を彩りました。上に、萩野友理恵さ 出演し舞台を彩りました。上に、萩野友理恵さ 出演し舞台を彩りました。「女子が原作・脚本を手制作委員長の菅原伴耕された。」立た、「女子が原作・脚本を手制作委員長の菅原伴耕された。」立た、「女子が原作・脚本を手制作委員長の菅原伴耕された。」立た、「女子が原作・脚本を手制作委員長の菅原伴耕された。」立た、「女子が原作・脚本を手制作委員長の菅原伴耕された。」立た、「女子が原作・脚本を手制作委員長の菅原伴耕された。」立た、「女子が展した。」といる。本場の世界にない。「女子が展している。本場のでは、「女子が展している」といる。本場のは、「女子が展した。」といる。本場のは、「女子が展した。」といる。本場のは、「女子が展している。本場のは、「女子が展している。本場のは、「女子が展している」といる。「本場の一般では、「女子が展している」といる。「本場の一般では、「女子が展している」というない。「本場の一般では、「本場の一般では、「大きないる」といる。「本場の一般では、「大きないる」というないる。「本場の一般では、「大きないる」といる。「本場の一般では、「大きないる」といる。「本場の一般では、「大きないる」といる。「本場の一般では、「大きないる」といる。「本場の一般では、「大きないる」といる。「本場の一般では、「大きないる」といる。「本場の一般では、「大きないる」といる。「本場の一般では、「大きないる」といる。「本場の一般では、「大きないる」といる。「本場の一般では、「大きないる」といる。「本場の一般では、「大きないる」といる。「本場の一般では、「大きないる」といる。「本場の一般では、「大きないる」といる。「本場の一般では、「大きないる」といる。「本場の一般では、「大きないる」」といる。「本場の一般では、「大きないる」」といる。「本場の一般では、「大きないる」」といる。「本場の一般では、「本場の一般では、「大きないる」」といる。「本場の一般では、「大きないる」」といる。「本場の一般では、「大きないる」」といる。「本場の一般では、「大きないる」」といる。「本場の一般では、「本場の一般では、「本場の一般では、「本場の一般では、「本場の一般では、「本場の一般では、「本場の一般では、「本場の一般では、「本場の一般では、「ないる」」といる。「本場の一般では、「本場の一体の一体のでは、「本場の一体のでは、「本場の一般では、「本場の一般では、「本場の一体の一体のでは、「本場の一体の一体のでは、「本場の一体のでは、「本場の一体のでは、「本場の一体のでは、「本場の一体のでは、「本場の一体のでは、「本場の一体のでは、「本場の一体のでは、「本場の一体のでは、「本場の一体のでは、「本は、「本は、「本は、「本は、「本は、「本は、「本

Story

— あらす

たの

多賀神社に住むいたずらキツネの松葉。人間に悪さをしては食べ物をせしめ、腹を満たしていた。ある日、供養絵額の絵師・染慈が通りかかる。いつものようにいたずらを試みるも見破られる。染慈を化かしたい松葉。「いい絵が描ける」といたずらを楽しむ染慈。しだいに心を通わせ、松葉は染慈を喜ばせることにうれしさを覚える。「人のために何かをする」。心情が変わる。一緒に絵を書くと約束した日、松葉は染慈の家へ。布団の中には冷たい染慈。光りが消えた――。染慈にあげたキツネの絵筆が死期を近づけたのかもしれない…。悔やむ松葉。悲しむ松葉を、キツネの仕業と思い込んだ村人たちが痛めつける。松葉は命からがら、染慈を弔うために供養絵を書き上げ、墓前へ。死期迫る松葉のもとに――。

染慈さんと

もっと一緒に

心通じた松葉と染慈の別れ

いたかった。





市民の舞台

遠野物語ファンタジ